



茨城県版

2021年 9月号
令和3年

No.235

発行／日本ベトナム友好協会本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-17-10 TEL 03-5981-8795

制作／日本ベトナム友好協会茨城県連合会

〒310-0034 水戸市緑町1-1-18 茨城県立青少年会館内 TEL 029-224-3500

左からジェトロ茨城、大川沙織係長、
茨城県連山口会長、村田事務局長、
渡邊千尋係長、吉田雄所長、



独立行政法人日本貿易振興機構の茨城貿易情報センター（ジェトロ茨城）の吉田雄所長と職員2人が、9月14日、山口やちる県連会長を表敬訪問し、着任後のあいさつと今後の連携について話し合いました。

ジェトロ茨城と更なる連携を ジェトロ所長ら山口会長を訪問

茨城のよさを海外に

吉田所長はジャカルタ事務所勤務の後、東京本部を経て今年の4月からジェトロ茨城に赴任。コロナ禍の中様々な方法で『茨城の魅力の発信と海外とつなぐ』活動を行っていきいます。『県内各地域を歩くと、まだまだ発信されていない魅力



や県産品がたくさんあって驚かされる。生産者や多くの企業と海外の国をつないでいきたい」と吉田所長は話します。

ベトナムに県産品を

現在ベトナムには常陸牛、梨を中心に加工品なども輸出しており、昨年10月にはジェトロ茨城が中心となってホーチミンの高島屋に店舗をもつベトナムの業者と、現地に梨を輸出している県内の生産者やJANAなどが参加し、オンラインで店舗見学を行い、販売の方法や梨の扱い方などの意見交換を行っています。



「県内には個人で米をアメリカやヨーロッパに輸出している人もおり、野菜の生産から加工、出荷を工夫して行っている企業など、県連の会員の中にも勉強になる生産者や企業がまだまだある。ぜひベトナムにも県産品のよさが伝わったり、輸出できる品物が増えることを期待したい」と山口会長が話し、県連とも連携し活動していくことを確認しました。

オンラインセミナー

ジェトロ茨城では9月30日に『ベトナム食品市場セミナー・個別相談会』をオンラインで開催予定。

ベトナム・ホーチミンで会社を設立し、初のジャパニーズクッキングスタジオを展開している株式会社スター・コンサルティング・ジャパンの荒島由也代表取締役が講演を行います。

ジェトロ茨城の吉田所長は県連の参与でもあり、今後も様々な分野で協力していきたいと思っています。

日本ベトナム友好協会茨城県連合会の支援活動に協力をしていただける方、また支援を希望される方は事務局までお電話またはメールにてご連絡ください。

米14俵を茨城県連合会に提供

ニュースを見て困っている人に

銚田市在住の小沼光市さんが8月30日、米14俵840きを茨城県連合会に寄贈してくれました。

小沼さんは銚田市で大規模に稲作を行っており、仕事を終えた夜中にNHKのデータ放送で、県連が常総市で外国人労働者の支援活動を行っているニュースを見て、県連を通じて困っている人に届けて欲しいと大量の米を提供してくれたのです。

小沼さんは「例年、食堂やレストラン関係者が米を求めて来るので、コロナ禍でも保管していた。今年も

稲刈りの季節が来る。きちんと保存して欲しい米なので、ぜひ子ども食堂や母子家庭など困っている人にも届けてもらえればありがたい」と粳で保存していた米を玄米にして寄贈してくれました。

銚市内の米店が協力

また、昨年から県連の支援活動に協力してくれている、銚田市の本澤米店さんが米を精米し、3きずつに

小分けして県連のステッカーを貼り、280袋を準備してくれました。

「新米だと思っほどのいいお米です。ぜひ多くの方に喜んでもらえるといいですね」と家族で協力してくれました。

子ども食堂には一俵

県内のベトナム人、留学生、外国人労働者の支援を続けている県連ですが、小沼さんの希望を受け、毎月子ども食堂を開いている公益社団法人茨城県青少年育成協会に9月14日、米60きを寄贈しました。

橋本由美子事務局長は「年内の活動に十分生かすことができ本当に助かります。子どもたちが喜ぶと思います」と話し、受け取ってくれました。

県母連には二俵

17日には、社会福祉法人茨城県母子寡婦福祉連合会に米約2俵126きを寄贈しました。境洋子会長は「2回フードバンク茨城の支援を受けているが、これだけのお米の支援はなかなかない。本当に大きな支援になります。皆さん喜ばれると思います」と話しました。来月には県北で困っている日本語学校へも支援する予定です。

残りの米は会員の市町村の外国人労働者支援に活用していきます。



銚田市の小沼光市さん(右)



左から銚田市の本澤秀樹さん、県連雑賀、本澤知子さん



左から青少年育成協会の安部智主任と橋本由美子事務局長



左から県母連、竹内政夫施設長と境洋子会長、県連村田、大場



総合建設業 鈴縫工業株式会社



関彰商事株式会社



NPO (特定非営利活動法人)
日本スポーツ振興協会



株式会社 鹿島アントラーズ FC



アイザワ証券



正直に元元と
茨城県信用組合

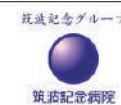
語り合う、人・街・水。
より豊かな暮らしのための環境づくりを進めています。



コスモ総合建設株式会社



グリーンビジネス協同組合



筑波記念病院
TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL

私たちは友好親善の懸け橋
機関紙の発行を応援します

GB協同組合 理事長 一郎理事長



東京都渋谷区にあるユーキトレディング株式会社は7月「ベトナム人をはじめ外国人労働者支援を行っていることをネット知り、ベトナムのライム塩があるので、ぜひベトナム人をはじめ東南アジアの方々や外国人労働者の方々に使ってもらいたい」と48個入り30箱を寄贈していただきました。

品物を受け取る山口会長



ベトナムレストラン、ニョアンさん



で生活の支援に行く時に、ぜひ多くの人に配りたい。みんな喜ぶと思う。コロナで大変な時なので本当にありがたい」と話しました。

ライムリーフペッパーソルトに感謝

ユーキトレディング株式会社

(株)true green ニョアンさん(右)とナムさん(左)



研修施設 株 交流中心



「味を届けてあげたい」と喜んでくれました。さらに県内のベトナム人コミュニティや小美玉市の

みらい日本語学校



日本語教室 サバイディの皆さん



また、グリーンビジネス協同組合の理事長一郎理事長は「本当にありがたい。農家を回って実習生の様子を見に行くので、ふるさとのライムリーフペッパーソルトに感謝の意を伝えました。受け取った人たちからも県連に感謝の言葉が多数届いています。」

ベトナムコミュニティ、チンさん



医療法人社団 善仁会

小山記念病院



社会福祉法人 寿広福社会

特別養護老人ホーム L・ハーモニー石下



用地総合補償コンサルタント

三陽用地株式会社



ひとりひとりのくらしの近くに。

JA茨城県中央会



社会福祉法人 二十世紀会



アオキ株式会社



美術品輸送から霊柩車まで

株式会社 アサヒヤ



エーシーティ

ジェネレーター株式会社

自然と環境を大切に。 廃棄物高度リサイクル施設

株式会社 茨城環境企業



(株) 中山敬二建築設計事務所

KEIJI NAKAYAMA ARCHITECTS

私たちは友好親善の懸け橋
機関紙の発行を応援します

青年部が2年ぶりに活動再開

大学を離れる留学生へエール

コロナ禍の留学生

9月16日、水戸市内のホテルに集まったのはフエ外国語大学のトゥ・ティ・ホン・リンさん(23歳)とホーチミンフーリット大学のダン・ティ・トゥイ・ヴィさん(24歳)。

二人とも1年間の交換留学生として茨城キリスト教大学の留学していました。が、新型コロナウイルスの影響により、2年経つても帰国のめどが立たず、大学の好意で学校に残り勉強を続けてきました。9月いっぱい大学を離れることになり、それぞれが新しいスタートを切ります。

リンさんは、自分がイン



右から塙さん、ヴィさん、リンさん、下山田さん

ターン(職業体験)として

お世話になった日立市内の会社で仕事を続けながら帰国の準備や日本での就職活動を行い、ヴィさんはベトナム人の友達に協力してもらい、居候しながら就活を行っていました。

「コロナのおかげで日本語をしっかりと勉強できた。日本に来たことで、内気な自分から、チャレンジできる自分になることもできた。大学の皆さんやインターンシップでお世話になっている会社の皆さんにも本当によくしてもらった。できれば日本で働きたい」と流暢な日本語で話すリンさん。

ヴィさんは「ベトナムで初めて日本の漢字を書いた時、とても面白くて、日本で勉強するのが夢でした。日本に来られたのも多くの人と出会えたのも何かの縁があったから。関わってくれた皆さんにとても感謝しています」と話します。

日本の学生も厳しい現実

学生部で常磐大学2年の下山田麟太郎君(19歳)は高校時代からベトナム訪問団に3年続けて参加し、支

援活動に参加。大学生となったもののリモートによる授業でまだ友達もできず、早くベトナムで活動を再開したいと話します。

3月に茨城キリスト教大学を卒業した塙都妙さん(24歳)は、卒業後ハノイの日本語学校で働く予定でしたが、コロナ禍でベトナムに行けず、アルバイトをしながら国際便が再開するのを待っています。

お互いにエールを

下山田君とリンさんは、3年前フエ外国語大学で一緒に活動したグループの仲間「こんな形で再開できて」と、その時の活動を思い出していました。

塙さんからプレゼントを渡され、下山田君からエールを贈られた二人は「お互いに頑張りましょう」とエールを贈り返しました。



Global HR Strategy

弁護士法人Global HR Strategy GHR法律事務所

社会福祉法人
祥風会

社会福祉法人祥風会

KAMAYA MOTORS
釜屋モータース

土地・建物総合コンサルティング
株式会社つくばパブリック

Yakult 水戸ヤクルト販売株式会社
ミト、モット、ヤクルト

JOKOH
保温・保冷・板金・塗装

株式会社 城光断熱

外国人採用を
お手伝い致します 株式会社アセアン

Asia Human Training Development Organization

一般社団法人アジア人財教育開発機構

KIMYAMA JUKI

株式
会社

君山重機

地域お助け隊

Green
TAXI

TAIYO

株式会社 大 洋

ORIENTAL

特定総合建設業

株式会社 オリエンタル技建工業

農地所有適格法人

有限会社 ワールドファーム

株式会社

大洗工芸社

私たちは友好親善の懸け橋
機関紙の発行を応援します

年間活動をパネルで紹介

水戸市国際交流協会主催の国際交流団体活動紹介展示が水戸市国際交流センター(同市備前町)2階ロビーで開催されています。

展示会は、水戸市を拠点として活動する様々な国際交流団体を広く市民に紹介する目的で毎年実施しています。

約20団体を年間5期に分けて展示しており、茨城県連合会は第4期(9月4日～10月28日まで展示)で「茨城アジア教育基金を支える会」「AFS日本協会茨城水戸支部」「水戸国際コミュニケーションシヨンス」とともに展示しています。

今回は昨年同様「コロナ禍に負けずに支援の輪」と題し、筑波大学、茨城大学、常磐大学、茨城キリスト教



大学や日本語学校で学ぶ留学生への食料支援の様子に加え、県内数カ所で行ったベトナム人技能実習生を中心とする衣類や食料支援の様子を展示しています。杉田弁護士やアセアンの廣田さんらの協力で昨年7月から開催している「無料弁護士相談会」については、相談の様子を写真で紹介するとともに、NHKで放映されたことについても伝えられています。

度重なる台風で甚大な被害を受けたベトナム中部にあるフエ市の児童保護施設アンティ子どもの家へランドセルやジャージ、ポロシャツ、タオルなど、段ボール40箱分の支援した様子も展示しています。

常磐大学やJA茨城との協力体制への意見交換の様子、コロナ禍で被害を受けたベトナム人支援活動が評価され駐日ベトナム大使から表彰状を授与されたことなども伝えています。

その他、当連合会の概要案内や入会案内パンフレット、過去の機関紙などの資料も公開しています。

県内在住のベトナム人が海岸清掃 地域のためになることを

茨城県ベトナム人協会のドウ・ティ・トゥ・チャンさん家族を中心に8月複数回にわたり、県内在住のベトナム人家族や日本人が協力して東海村の村松海岸で清掃作業を行いました。

7日にはSNSの投稿を見て日本人2人を含む28人のベトナム人が参加し、2時間で20袋以上のゴミを集



めました。

枝や流木に混じって不法投棄された家庭ゴミや雑誌、ペットボトルやレジ袋などのプラスチック製品が多く、大汗をかきながらみんなでゴミを集めました。

チャンさんの専門は環境問題やゴミ問題。多くのベトナム人が「日本のきれいな海がゴミで汚れているのはとても残念。ここに住んでいる私たちも地域のために何か貢献したい」と率先してビーチグリーンに参加してくれました。

夏休みコロナの影響であまり外出できなかった子どもたちも、暑い陽射しの中、真っ黒になりながらもはりきって活動していました。「きれいになった海岸はとても気持ちいい。清掃後は県連からいただいたライム塩をみんなで分けました。皆さんとても喜んでいました」とチャンさん。

ベトナム人協会をはじめ、地域ベトナム人が地域のために活動してくれるのはとても嬉しいことです。今後は県連も協力して、それぞれの地域でできる活動を増やしていけたらと思います。

川屋 (株) 砂

HEISEI

平成建設株式会社



石・タイル・設計施工
株式会社 ヤナギシタ



鉄骨工事・太陽光発電設置工事

たんげ技建



北関東ペプシコーラ販売株式会社



株式会社 河野正博建築設計事務所



特定建設業

中村工業株式会社



株式会社 アルファジャパン
ALPHA JAPAN LTD.



有限会社 菊池興業



株式会社 高竜組

私たちは友好親善の懸け橋
機関紙の発行を応援します

厳しいロックダウンの現状 セキショウベトナム江幡所長に聞く

新型コロナウイルスにより社会隔離政策を行っているベトナムから一時帰国しているセキショウベトナムの江幡弘康所長に現在の現地の様子を聞くため、9月15日、つくば市の関彰商事株式会社に向いました。江幡所長によると、現在ベトナムでは1日におよそ1万3千人がコロナウイルスに感染。徐々にワクチン接種も増えてきています。すでに3ヶ月近い社会隔離措置(ロックダウン)が行われているため、ほとんどの主要都市は車もバイクも通っておらず、信じられないほど静かです。

市をまたぐ移動はとても厳しく、市内の主な交通機



静まりかえったハノイ市街



江幡弘康所長

関をはじめレストランや食事の宅配も完全に止まっています。

買い物をするには配布されているチケットを持って週に2〜3回市場や銀行、病院やスーパーマーケットに決められた時間のみ行くことができます。

工場に泊まり込み

ハノイ周辺の工業団地では海外に輸出している工場は稼働していますが、陰性証明書がないと出入りができないため、働ける人は工場の中(床)に寝泊まりして、2ヶ月以上も働いています。

街角からは屋台も消え、ほとんどの会社はオンラインで仕事をし、自宅待機が続いています。

6月から7月はベトナムの卒業シーズンですが、大学の卒業式もオンラインで行われたそうです。無断外出は罰則が厳しく、公安から多額の罰金が課せられま

す。それでもホーチミンなど大きな都市での感染が収まらない状況です。

日本にも影響が

日本でも、ベトナムからの食品(エビなど)や衣類、様々な製品の輸出が滞り、多方面に影響が出始めています。日本からベトナムへの国際便も止まっており、入国許可書や陰性証明書が必要で現地在住者がかろう

じて戻る程度となっています。

現在76・6万人がコロナウイルスに感染し、1万8千人以上が亡くなっているベトナム。デルタ株に置き換わったことで厳しい現状が続いています。

経済活動が再開するのは来年の2月〜3月ごろ、世界中で先が見えない状況の中、日本もベトナムも1日も早い新型コロナウイルス感染症の収束が望まれます。

添野さん制作映画無料配信

県連会員の添野江実子さんが制作した映画『私の父もそこにいた』証言によるベトナム残留日本兵の存在が、アジアンドキュメンタリーズで無料配信されています。



アジアの優れたドキュメンタリー映画を配信するサイトで、コロナ禍で上映会が自粛の中、インターネットによる無料配信です。

■新入会員

▽NPO法人日本スポーツ振興協会・沼尻満男(つくば市)▽グウェンホンソン(つくば市)▽小柴庄市(水戸市)▽青木陽一良(東京都)

敬称略

今月の川柳

○ 鶴飾り 平和届けと天の川

県連顧問

人見章太郎

○ 秋彼岸 墓参で飾る女郎花

事務局次長

海老根 巖



昭和建設株式会社



非破壊検査 コンクリート構造物調査 建物調査
株式会社 テクニカルワークス
一級建築士事務所

掲載サイズ赤枠部

機関紙「日本とベトナム」

茨城県版広告掲載のお願い

年度分掲載料3万円

掲載のお申し込みは県連事務局まで

☎029-224-3500

株式会社 亀山工務店

この機関紙保存版は、ホームページ用に圧縮しているため、広告サイズを縮小しています。

詳しくはホームページ画面上部の広告主リンク一覧、もしくは隔月発行の機関紙をご覧ください。

私たちは友好親善の懸け橋
機関紙の発行を応援します